



長崎大学病院において 次世代の優秀な医療プロフェッショナル の育成に重要な役割を果たす UpToDate®



「研修医の間でUpToDate
の評判は極めて良好で、
複雑な症例の診断や
効果的な治療計画の策定を
支援するツールとして
欠かせない存在に
なっています」

長崎大学病院
医療教育開発センター長
浜田久之教授

長崎大学病院は、1861年に長崎養生所として設立された日本で最も長い歴史を誇る病院で、がんや感染症の治療では日本トップクラスの医療機関として高い評価を獲得しています。現在の病床数は862、ISO9001も取得し、1,500名を超える医療スタッフがたえず最高水準の医療の提供に取り組んでいます。

また、長崎大学医学部と連携している長崎大学病院は医療人の育成の面でも定評があり、優秀な医療プロフェッショナルを長崎県のみならず日本全国に輩出しています。

エビデンスに基づく価値ある臨床支援・教育ツール：UPTODATE

長崎大学病院の医療教育開発センター長を務める浜田久之教授によると、同病院ではエビデンスに基づく臨床意思決定を支援する目的で2009年にUpToDateを採用しました。大学を卒業後、カナダで学んでいた浜田教授は、そこでエビデンスに基づく診療の重要性を教わります。

「長崎大学病院では、最新のソリューションを利用した次世代の医療プロフェッショナルの育成を積極的に進めています。医学生や研修医に対するエビデンスに基づく医療の講義やワークショップの際にUpToDateを活用しています。研修医の間でUpToDateの評判は極めて良好で、複雑な症例の診断や効果的な治療計画の策定を支援するツールとして欠かせない存在になっています。UpToDateが提供する情報は臨床教育に大切な役割を果たしています」と、



浜田教授は述べています。

長崎大学病院と提携する長崎大学医学部は優秀な医学生の獲得に向けて他の大都市と熾烈な競争を繰り広げていますが、全国1,080大学のうち長崎大学医学部は医学を志す学生の人気ランキングの5位に入っています。浜田教授は人気の理由の1つに、UpToDateなど最新ツールを採用した医療プロフェッショナル育成制度の充実を挙げています。

「UpToDateの採用で、
病院および大学での
臨床教育の質は
ここ数年で
飛躍的に高まったと
実感しています」

長崎大学病院
古賀智裕助教



長崎大学病院は、たえず最高水準の医療の提供に取り組んでおり、がんや感染症の治療では日本トップクラスの医療機関として高く評価されています。

エビデンスに基づく医療のスタンダード

研修に加えて、感染制御やプライマリケア担当の医師もUpToDateを積極的に活用しています。「教育目的のみならず、特に複雑な症状を抱えた患者の診療の質を高めるために日々UpToDateを活用しています」と浜田教授は語っています。

長崎大学病院には、韓国や中国をはじめとするアジア諸国から訪れる患者が増加傾向にあります。UpToDateの採用で、同病院の医療チームはグローバルのガイドラインやスタンダードに則った高水準の医療を、自信を持って提供できるようになっています。

2014年の長崎大学病院の医師によるUpToDateの利用は前年に比べて24%増えました。利用範囲は22の専門分野すべてに及びましたが、その中でアクセス数が特に高かったトピックを次に紹介します。

- アデノウイルス感染症の診断および治療
- 非HIV感染患者におけるニューモシスチス肺炎の治療および予防
- ランゲルハンス細胞組織球症の治療

- 低悪性度神経膠腫のマネージメント
- 成人における不明熱に対するアプローチ
- 小児における血小板減少症の原因
- 脳膿瘍の病因、臨床症状、および診断
- 成人の免疫正常宿主におけるサイトメガロウイルス感染の疫学、臨床症状、および治療
- 膜性腎症の原因および診断
- 成人における血栓性血小板減少性紫斑病-溶血性尿毒症症候群の原因

新たな研究結果が矢継ぎ早に発表される中、つねに最新の医療知識を身につけておくことは長崎大学病院の臨床チームのリーダーにとって大きなチャレンジです。一例をあげると、処方が推奨される抗生物質は刻々と変化します。UpToDateにアクセスすれば、医師はポイントオブケアにおいて最適な最新ガイドラインをすぐに参照できます。

「UpToDateのおかげで、各医療分野のエキスパートによって検証された有効性の高い最新情報にアクセスでき、これがエビデンスに基づく医療の信頼度を高めています。国際的に定評ある信頼性の高い情報源であるUpToDateは、エビデンスに基づく医療を実践する上での『バイブル』です」と浜田教授は述べています。

今後に向けて

長崎大学病院では医療の質の向上に向けて積極的に新しいテクノロジーを採用しています。電子カルテを導入して、医師がポイントオブケアで患者情報を閲覧可能にしているのみならず、エビデンスに基づく推奨治療法に素早くアクセスできるよう研修医にモバイル情報端末を支給しています。

「長崎大学病院の医師はエビデンスに基づく最新の医療を提供する上でUpToDateをフルに活用しています。医療ITの進化が続くなか、臨床のワークフロー全体においてシームレスにUpToDateを活用できるようにしていきたいです」と浜田教授は締めくくりました。

「国際的に定評ある信頼性の高い情報源であるUpToDateは、エビデンスに基づく医療を実践する上での『バイブル』です」

長崎大学病院
医療教育開発センター長
浜田久之教授

UpToDateにアクセスすれば、医師はポイントオブケアにおいて最適な最新ガイドラインをすぐに参照できます。

UPTODATEについて

Wolters Kluwer Healthの一部門であるUpToDate® は、医師の執筆によるエビデンスに基づいた臨床意思決定支援システムで、世界中で850,000名以上の臨床医と29,000以上の医療施設に利用されています。世界的に著名な執筆者・編集者・査読者が厳格な編集プロセスに従って、最新の医学情報をエビデンスに基づいた推奨治療法をまとめており、医師はポイントオブケアで正しい判断を下す際に信頼を持って利用しています。

WOLTERS KLUWER HEALTHについて

Wolters Kluwer Healthは、ヘルスケア業界向けの情報、ビジネス・インテリジェンス、ポイントオブケア・ソリューションを提供する世界大手企業です。150か国以上でサービスを提供しており、医師は研修から研究、臨床までキャリアを通じて、業界をリードする当社の情報ツールやソフトウェア・ソリューションを利用できます。主なブランドには、Health Language®、Lexicomp®、Lippincott Williams & Wilkins、Medicom®、Medi-Span®、Medknow、Ovid®、Pharmacy OneSource®、ProVation® Medical、UpToDate®などがあります。

Wolters Kluwer Healthは、一流の世界的情報サービスおよび出版会社であるWolters Kluwerの一部門です。Wolters Kluwerの2013年度の収益は36億ユーロ（27億ドル）、全世界の従業員は約19,000人で、欧州・北米・アジア太平洋・南米の40か国以上で事業を展開しています。公式ツイッター：@WKHealth

本資料に記載されている商標、サービスマーク、会社名、それぞれの著作権所有者が権利を有します。

参考文献

- 1 Isaac T, Zheng J, Jha A. Use of UpToDate and outcomes in US hospitals. J Hosp Med. 2011 Nov 16. doi: 10.1002/jhm.944.

